



下妻特別支援学校 交流だより

令和5年度版

『交流及び共同学習』とは、誰もが互いに人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指すために、障害の有無に関わらず、児童生徒あるいは地域社会の人たちが触れ合い、ともに活動する機会を設けることを目的としたものです。

今年度は感染症の状況を見ながら、予防対策を行いつつ、直接交流を中心に交流を行うことができました。久しぶりに対面で顔を合わせて交流することができ、児童生徒一人ひとりが笑顔で楽しみながら、主体的に活動に参加することができました。

令和6年2月9日

学校間交流

本校は今年度、創立50周年を迎えました。記念事業の1つとして、交流校の友だち、それからたくさんのボランティアの方々と一緒に、6月に学校間交流『アート活動』を行いました。小学部は上妻小学校の3年生と、中学部は下妻中学校の2年生と、高等部は下妻第二高等学校 JRC 部の皆さんと交流をしました。

下妻まつりの『千人おどり』をイメージして、身体よりも大きな布に踊っている姿を描き、思い思いの色や道具を使って、自由に激しく表現することができました。相手校の児童生徒とは、「何色にする?」「一緒にやってみようよ」など、言葉や身体の動きで伝えあいながら、協力し合って楽しく活動することができました。



居住地校交流

今年度は、8名の小学部生と1名の中学部生が居住地校交流を行いました。直接交流を希望した児童は、実際に居住地の小学校に訪問し、当日は、国語や音楽、図工、体育などそれぞれの教科や活動内容で小学生との触れ合いを楽しむことができました。間接交流を希望した児童・生徒は、お便りでの交流と、オンラインでの交流を行いました。オンライン交流では、互いに自己紹介をしたり、合奏や朗読の発表を見たりしました。直接交流、間接交流ともに楽しく学習活動を行うことができました。



地域交流・花いっぱい活動

11月21日、22日、24日に下妻市近隣の各団体の皆さん（下妻市婦人会、下妻青年会議所、下妻市社会福祉協議会、株式会社 TAIYO）と一緒に、本校で花いっぱい活動を実施することができました。児童生徒たちは、地域の方々と一緒にプランターに土を入れたり、色とりどりのパンジーを植えたり、水やりをしたりして、楽しく有意義な交流を行うことができました。プランターは、下妻市役所や郵便局、近隣の小中学校などに設置しました。ぜひ見ていただければと思います。



地域交流・寄宿舎交流

9月に下妻市婦人会の方と直接交流でポッチャを行いました。婦人会の方と寄宿舎生の混合チームで試合をしたり、婦人会チーム vs 寄宿舎生チームで試合をしたりと、時間いっぱいまで盛り上がりました。婦人会の方から「楽しかった、面白かった。また、交流したい。」と感想をいただきました。また、手作りのBOXティッシュカバーをプレゼントすると、とても喜んでもらえました。寄宿舎内を見学した際は、お風呂の大きさにびっくりされていました。

